

【資料4-2】 第1回マイナンバー部会について

マイナンバー部会事務局
(総務部 情報戦略課)

<マイナンバー部会としての担務>

【前提】マイナンバーカードの利活用方法の具体化と実装

- 市民普及率が7割を超えたマイナンバーカードを利活用して、市民サービス向上を図る。
- 各課の抱える課題をマイナンバーカードを利用して解決する。
- マイナンバーカード未取得者へのPRの要素も含めた議論をする。

【検討事項】※検討事項については部会での検討を踏まえて柔軟に対応していく

①各課業務に関連したマイナンバーカード活用事例の整理及び

今後の取組内容の検討（主体：各課）

- ⇒他自治体のデジ田交付金の事例等を参考にヒアリング等、確認を行う。
- ⇒導入システムベンダーや制度設計、調整事項について確認する。
- ⇒各課にて次年度予算として計上できるよう、根拠資料として準備を進める。

②複数システムを統括する「個人認証アプリ」の検討（主体：情報戦略課）（※参考資料1）

- ⇒複数システムでそれぞれマイナンバーカードをかざさなくても済むよう全庁共通型の「個人認証アプリ」の導入等を検討する。
- ⇒デジタル庁等の動向を確認する。

③予算化を前提とした方向性の確認・決定（主体：各課）

- ⇒次期デジ田交付金取得も見越した検討を行う。

【実行について】

- 部会はアイデア検討だけに留まらず、実現・実行の中心的な役割を担っていただく。
- 第2回部会（6月中下旬実施予定）までに**各課が調べた資料・各課として取り組みたい内容等**を事務局に提出いただき、その上で第2回以降にて、複数課で共通化・パッケージ化したシステムができるかを議論していただく（ご提出いただく内容は次ページ参照(調整中)）。

項目	内容
ヒアリング先	〇〇県 〇〇市
サービス名	〇〇〇システム
ベンダー	(株)〇〇〇
システムで行えること	<ul style="list-style-type: none"> • マイナンバー提示で市民の××の情報を取得 • 取得内容を利用して◆◆を実施 • ★★の作業を短縮
システム的设计	<ul style="list-style-type: none"> • クラウド上に〇〇システムを構築 • 読取ツールを××に設置、通信を準備
予算	◆万円 (内：ランニング×円)
準備に必要な作業	.
豊田市の〇〇課で行いたいこと システムで対応できること	
⇒システム導入時のハードル等	
現状関係しそうな課	

【事前調整】4月中旬までに

- ・副グループ長及び3部のメンバー選定調整・依頼
- ・3部以外メンバーの選定調整・依頼

【第1回】5月17日

- ・令和4年度の議論の振り返り
- ・今後の進め方について
- ・各課の方針等についての議論

【第2回】6月中にとりまとめを目途

- ・各課業務に関連する先駆取組の確認
- ・システムベンダーへの内容確認
- ・次年度予算化に向けた導入計画準備
(デジタル化本部会議にて随時報告)

【6月以降】9月中にとりまとめを目途

- ・各業務の発注仕様等検討
- ・関係機関との調整

【10月以降】

- ・令和6年度実施事項の検討・調整・準備
- ・ロードマップの整理
- ・デジ田交付金活用の整理

【2～3月を想定】

- ・令和5年度取組の報告
- ・令和6年度体制・実施事項の共有

政府骨太方針等の公表
(6月上～中旬)

- 令和6年度DX予算方針
- 導入計画提出準備(7月～)

府省庁概算要求
(8月末(概ね31日))

- 導入計画提出期限(8月中旬)
- 概算要求のポイント共有
- 予算要求準備(9月中旬～)

○予算要求期限(10月中旬)

○デジ田交付金申請(12月～)